

て是を丸といふ、また向ふ四本折たるを拂ひて、手前一本もなき時より、五本折たれば、是三本の勝になるなり、たとへば向ふに一本、初拳をかちたりとも、前のごとく手前三本勝たるときは、勝負になるなり、則此拳を△<sup>無</sup>といふ、兩方とりわけになりて、次の勝負拳を十五の一といふなり、また向ふに一拳かち、次に手前はまへに云丸といふて、五拳折かちたるを、是を叶勝といふなり、則京師堺などの拳の立法なり、

つき出し一ッ合すを勝とするは、是を薩摩拳といふ也、

〔拳獨稽古〕大坂拳の事

此拳は呼聲なし、只ゆび計出して、先のゆび此方のゆびと出して見、たとへば先ニ而握り出せしとき、此方ニ而一本出したるは、一本のかたかち也、先ニ而一本出し、此方ニ而一本出したるは、二本のかた勝也、かくの如く一本ましをかちとす、餘のゆびかづとなれば、かちまけなし、先ニ而五本出せし時は、無手ニ而取なり、餘は玄ゆんじ知べし、

大坂にてはをりはねといふて、初けん一本此方ニ而とり、また先ニ而一本とり、二本めまた此方にてとりたるとき、先にて二本めをとれば、此方ニ而二本めのとりにたるゆびはねるなり、互にかくして、二本め三本めとつゞけてとりたるかた、かちとするなり、

〔拳會角力圖會下〕浪華拳諸名家組々表附

北船場

古定組 大關 義友 關脇 東士 小結 舍亭<sup>○中</sup> 頭取<sup>米蔭萬</sup> 組頭<sup>義辰</sup> 新定組

大關 文樂 關脇 花石 小結 都水<sup>○中</sup> 寶組 大關 巴水 關脇 可一 小結 文

橋<sup>○中</sup> 鶴組 大關 定信 關脇 專イ 小結 香車<sup>○中</sup>

京都拳名家 關取分 文字霞 浦島 八重谷 海士錦 瀧霞 司馬藤 沖錦 繫藤 四方

雪 源氏綱 色紙波 岩戸車 千歳波 御崎灘 五百湊 御代谷 八十島 濱霞 兒櫻

名人